

## 2 目標達成計画

事業所名： ケアホームまごのて

作成日： 令和4年1月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念を3つ掲げ、かみ砕き毎月の目標として見やすい場所に掲げているが、各自が理念に基づいて介護をしているかは不明であり、理念の考えが薄れているように感じる。理念についての話し合い、共有、反省など振り返りが出来ていないことが要因と思われる。	利用者第一の理念に基づいて介護していく。理念の共有かと共に定期的に話し合い、見直しを図る。	現在毎月掲げている理念の見直しをする。月初めには目標の確認をする。職員会議にて理念に基づいての介護が共有、実行できているか、また、修正の必要性があるかを話し合っていく。理念は常に確認できるように掲示する。	12 か月
2	10	利用者様個々の健康状態や生活状況を毎月のレターにて報告はしているが、家族様より意見や要望等を伺うことがあまり出来ていない。コロナ過にて面会が出来ない状況や運営推進会議の不参加もあり意見の反映があまり出来ていない。	利用者様の健康状況、生活状況を定期的に伝え、日頃の状態を知って頂く。職員全員が利用者様の様子を伝えることが出来る。利用者様や家族様より定期的に意見や要望を伺い、運営に活かして行く。	毎月のレターにて健康状況、生活状況の他に普段の様子の写真も添えてお知らせする。面会等が出来ていない家族様には定期的に電話等で意見を伺う。運営推進会議の参加を促すとともに、欠席者には書面での参加を行って頂く。書面参加内容等も議事録と共に家族様等に送付し、会議で出された内容についても意見を頂き運営に反映させていく。	12 か月
3	11	管理者、職員との個別面談などを行っているが、実際に介護をしているの苦労や不安など話しているかは疑問であり、今の状況に流されているのではないと思われる。また、社長と職員とノートでの相談、要望等は行われているが、個別面談があまり出来ていなく、会社側と職員との距離がある。また、各事業所間でのコミュニケーションが取れていない。	管理者は職員と定期的に面談をし、意見や思い、要望等を確認する。会社全体の会議に、意見や要望等を話し合い、反映させる。会社全体で集まる場を設け、コミュニケーションを図る。	管理者は日頃から職員と話し意見等を聞くと共に、職員会議等の意見や要望等を会社全体での会議に提出、話し合い、反映させていく。ノートの活用は定期的ではあるが、必要とする時にいつでも提出できるようにする。会社全体での研修会や行事を行い、職員同士のコミュニケーションの場を設け、出された意見等は反映させていく。	12 か月
4					か月